

# 伊丹市 ＜平成29年度(2017年度)決算概要＞

～ みんなの夢 まちの魅力 ともにつくる 伊丹 ～

## ＜目次＞

### ■ 決算概要

・決算概要	.....	1
・歳入(一般会計)	.....	2
・歳出(一般会計)	.....	3
・主な財政指標等	.....	4
・伊丹市の貯金と借金	.....	5
・国の補正予算を活用した事業	.....	6
・伊丹市行財政プラン	.....	7
・主な事業	.....	10

### ■ 参考資料

・平成29(2017)年度決算資料(計数編)	.....	資料-1
・健全化法関係資料	.....	資料-2
・財政用語説明	.....	資料-3

伊丹市総合政策部・財政基盤部







## 次世代のための公共サービス充実と健全財政を両立

平成29年度は、伊丹市総合計画(第5次)の後期5カ年の2年目として、その将来像である「みんなの夢まちなかの魅力 ともにつくる伊丹」の実現に向けた施策を着実に推進しました。

国の「未来への投資を実現する経済対策」に基づく補正予算を積極的に活用し、学校施設の大規模改造や空調改修、防災機能強化等のほか、自転車レーンの整備などに取り組むとともに、平成29年6月から開始した中学校給食の実施やビーコン送受信機を活用したまちなかミマモルメの利用促進を図るための小学校1年生等への利用料金の補助事業などを実施しました。また、民間保育所への施設整備に対する補助事業等、保育所の待機児童対策にも取り組み、平成30年4月1日時点において、前年度に引き続き、待機児童ゼロを達成しました。

こうした次世代のために必要な公共サービスの充実に取り組む一方で、行財政プランに掲げる財政指標の目標達成へ向け、同プランに基づく財政規律を堅持し、健全な財政運営にも努めました。

しかしながら本市では、少子高齢化に伴う社会保障経費の増嵩が見込まれるとともに、老朽化した公共施設の維持補修や更新に多額の経費を要すること、生産年齢人口の減少により市税収入の大幅な増加が期待できないことなど中長期的な市財政に大きな影響を与える課題に依然として直面しています。今後こうした課題に適切に対応し、自立的な財政運営を長期的に維持できるよう、公共施設マネジメントの推進をはじめとした行財政改革に引き続き取り組んでまいります。

### 一般会計決算のポイント

**歳入決算額 734億4,754万円 (H28 729億9,954万円 前年度比+0.6%)**

詳細P.2

- 市税収入は303億5,208万円、前年度比1億4,171万円増(+0.5%)  
納税義務者数の増加等により個人市民税が増、全体として微増。
- 国庫支出金総額は126億4,307万円、前年度比1億8,617万円増(+1.5%)  
社会保障関係経費等の増嵩により増。
- 市債発行額は49億4,184万円、前年度比12億2,547万円減(△19.9%)  
国の補正予算に伴う有利な財源の活用的一方、前年度に実施した中学校給食センター整備、スポーツセンター体育館耐震補強等の減少により大幅減。
- その他は35億7,007万円、前年度比10億919万円増(+39.4%)  
国民健康保険財政調整基金を創設したこと等に伴う財政調整基金繰入金、市有地売払収入の増加等により大幅増。(その他はP.2の円グラフによるもの。)

**歳出決算額 718億7,854万円 (H28 711億4,588万円 前年度比+1.0%)**

詳細P.3

- 扶助費は214億8,920万円で、前年度比9億9,594万円増(+4.9%)  
社会保障関係経費等の増嵩により増。過去最高額を更新、歳出全体に占める割合は約3割。
- 人件費は121億3,100万円で、前年度比5億6,703万円増(+4.9%)  
人事院勧告の影響、退職者数の増加等による増。
- 繰出金は50億8,049万円で、前年度比9億2,884万円増(+22.4%)  
国民健康保険財政調整基金への繰出金等により大幅増。
- 普通建設事業費は46億4,249万円で、前年度比27億7,442万円減(△37.4%)  
中学校給食センター整備、スポーツセンター体育館耐震補強等の減少により大幅減。

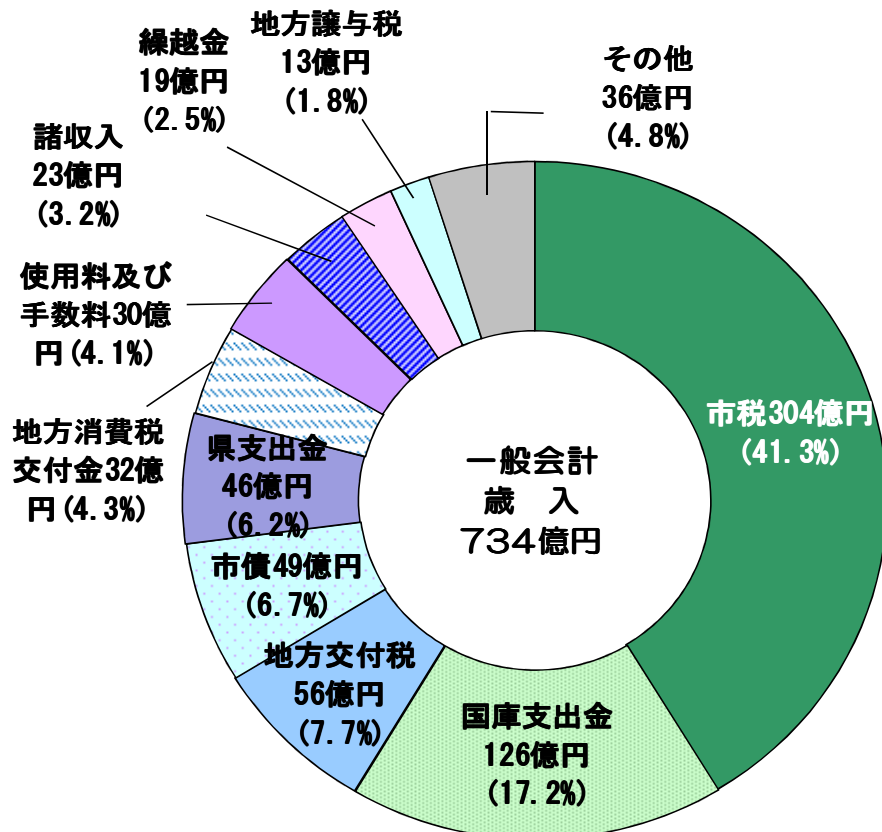
# 歳入(一般会計)



## ◆ 市税は納税義務者の増加等により前年度比約1億円の微増

### ●市税収入は303億5,208万円、前年度比1億4,171万円増(+0.5%)

納税義務者の増加等による個人市民税の増(8,273万円増)や新增築家屋の増加等による固定資産税(土地・家屋)の増(1億2,935万円増)等の一方で、法人税率の引き下げによる法人市民税の減(6,183万円減)等があり、市税全体としては前年度比で微増となりました。他の歳入等の増加により、歳入全体の決算額が増加したため、全体に占める割合は41.3%と、前年度(41.4%)に比べて微減しました。また、徴収率については98.0%であり、前年度比+0.3%と高い水準で推移しています。



※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にはなりません

## ◆ 国庫支出金、その他は増、市債発行額は普通建設事業の影響で大幅減

### ●国庫支出金総額は126億4,307万円、前年度比1億8,617万円増(+1.5%)

国の経済対策等として実施した臨時福祉給付金事業(4億66万円増)の増や私立保育所等保育負担金(1億9,639万円増)、生活保護費負担金(1億6,857万円増)など社会保障関係経費の増等の一方で、中学校給食施設整備事業(3億2,531万円減)の減等があり、全体として前年度と比較して増加しました。

### ●市債発行額は49億4,184万円、前年度比12億2,547万円減(△19.9%)

国の補正予算に伴う有利な財源等を活用して空調設備改修等の学校教育施設整備事業(3億5,090万円増)を実施した一方で、中学校給食施設整備事業の減(10億4,820万円減)やスポーツセンター体育館耐震補強等の社会体育施設等整備事業(5億5,810万円減)の減等があり市債発行額全体では前年度と比較して減少しました。

### ●その他は35億7,007万円、前年度比10億919万円増(+39.4%)

都道府県を財政運営の責任主体とすること等を盛り込んだH30年度の国民健康保険制度の改革に備えて、新たに国民健康保険財政調整基金を創設したこと等に伴う財政調整基金繰入金(8億2,058万円増)や市有地売却収入の増(2億638万円増)等により、前年度と比較して増加しました。

# 歳出(一般会計)



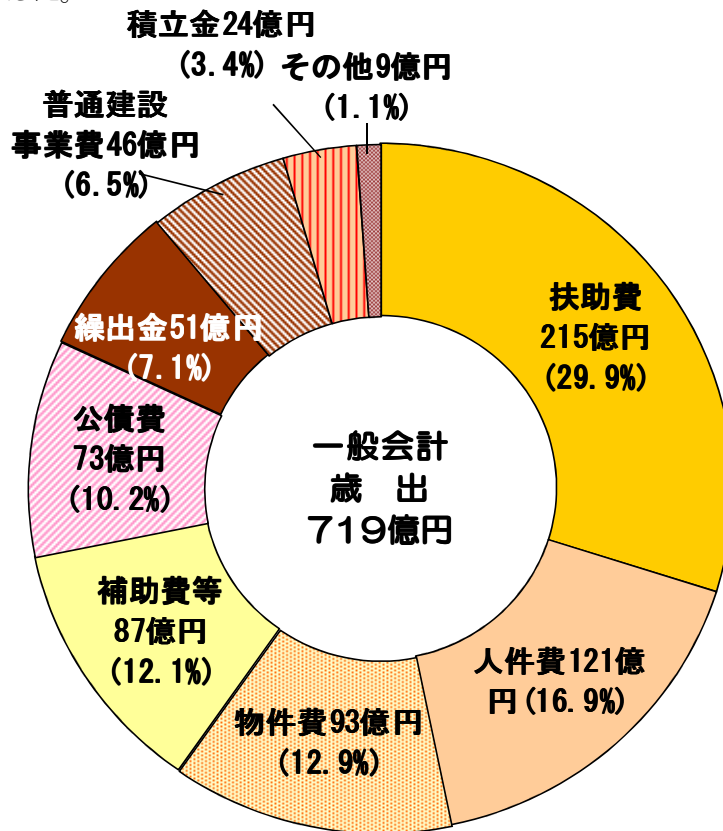
## ◆ 扶助費は過去最高額を更新、人件費は退職手当等の増加により増

### ● 扶助費は214億8,920万円で、前年度比9億9,594万円増(+4.9%)

学校教育・保育に要する費用として公私立の保育所・認定こども園等へ支弁する保育所保育委託料(2億8,026万円増)や施設型給付費(1億5,784万円増)をはじめ、生活保護費(2億5,258万円増)、障害者自立支援給付費(1億9,948万円増)等の社会保障関係経費が増加した一方、児童手当(4,684万円減)等が減少しましたが、結果として扶助費は過去最高額を更新しました。歳出全体に占める割合は約3割に達しています。

### ● 人件費は121億3,100万円で、前年度比5億6,703万円増(+4.9%)

人事院勧告等の影響による給料の増(6,929万円増)や期末勤勉手当の増(8,956万円増)、退職者数の増加による退職手当の増(2億4,126万円増)等の一方で、超過勤務手当の減(2,804万円減)等があり、人件費の総額は前年度と比較して増加しました。



※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にはなりません

## ◆ 繰出金は一時的要因により約9億円の大幅増、普通建設事業費は約28億円の大幅減

### ● 繰出金は50億8,049万円で、前年度比9億2,884万円増(+22.4%)

都道府県を財政運営の責任主体とすること等を盛り込んだH30年度の国民健康保険制度の改革に備えて、新たに国民健康保険財政調整基金を創設したこと等に伴う特別会計への繰出金の増加(7億7,320万円増)等により、前年度と比較して増加しました。

### ● 普通建設事業費は46億4,249万円で、前年度比27億7,442万円減(△37.4%)

国の補正予算に伴う有利な財源を活用して空調設備改修等の学校教育施設整備事業(2億8,688万円増)や、昆虫館大規模改修等の都市公園整備事業(5,874万円増)等を実施した一方で、中学校給食施設整備事業(17億9,759万円減)やスポーツセンター体育館耐震補強等の社会体育施設等整備事業(5億7,487万円減)等が減少した結果、全体として事業費は前年度と比較して減少しました。

# 主な財政指標等



伊丹市行財政プランに掲げる財政指標の目標水準へ向けた取組みを継続！

## 収支の状況

～経常収支比率 行財政プラン目標値を維持！～

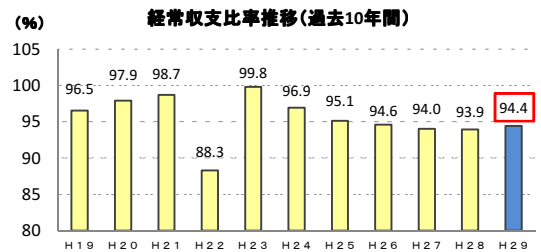
### 実質収支 実質収支は40年連続の黒字を確保

【実質収支】…歳入歳出を差引したもの(形式収支)から翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質的な収支  
**7億5,365万円** [ H28 5億7,636万円 前年度比 +30.8% ]

(参考)過去10年の実質収支額の平均は6億1,392万円

### 経常収支比率 財政構造の弾力性を示す指数は94.4%

伊丹市行財政プラン(以下、「行財政プラン」) **詳細P.7** に基づく事務事業の改善に取り組む一方で義務的経費(人件費・扶助費)の増により、前年度比0.5ポイント増加。  
**引き続き行財政プランで定めた目標値「95%以下」を維持。**



## 市の貯金と借金

～貯金は増加！借金は減少！～

**詳細P.5**

### 基金残高 財政調整基金残高は約76億円

一般会計における13基金合計残高は、149億5,135万円、前年度比で14億1,224万円増加。そのうち、財政調整基金残高は76億1,081万円となり、前年度比で9,688万円減少するも、**行財政プランで定めた目標値に向け着実に積立**て。

(参考)行財政プラン目標値:平成32年度までに標準財政規模の20%(405億5,029万円×20%=81億1,006万円)

### 市債残高 市債残高(一般会計)は約610億円

市の借金にあたる市債残高(一般会計)は、609億8,392万円、前年度比で18億3,098万円減少。その内、普通債は前年度比25億621万円減の287億1,622万円となっており、残高は**着実に減少**。

## 健全化判断比率等

～引き続き良好な数値を維持～

実質公債費比率は、7.1%で前年度比1.4ポイントの減。将来負担比率は、公債費充当可能財源等が将来負担額を上回ったため該当なし。

(単位:%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率
H29(2017)年度決算	—	—	7.1	—	—
行財政プラン目標値	発生させない	発生させない	H32年度 7～11%程度	H32年度 50～90%程度	発生させない
対前年度	— (H28 —)	— (H28 —)	△1.4 (H28 8.5)	— (H28 4.9)	— (H28 —)
早期健全化基準 経営健全化基準	11.44	16.44	25.0	350.0	20.0
財政再生基準	20.0	30.0	35.0		

※実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率及び資金不足比率については、該当なし



# 伊丹市の貯金と借金

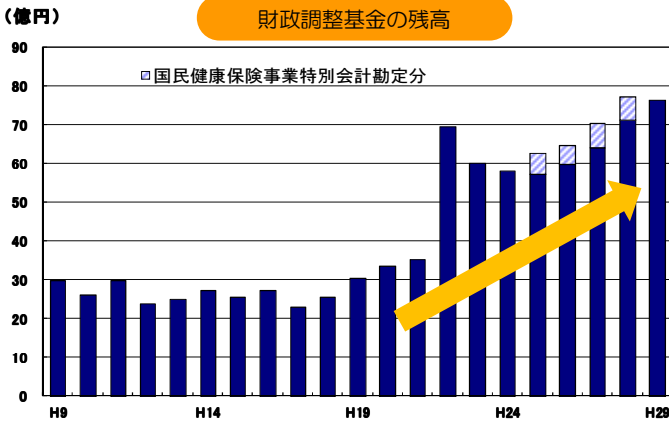


## 貯金

### ◆ 財政調整基金残高の推移

#### ●市の貯金にあたる財政調整基金残高は、平成17年度以降増加傾向に

国民健康保険財政調整基金の創設に伴う取崩し(8億3,766万円)の一方、地方財政法の規定による決算剰余金の積立て(2億8,818万円)等の結果、基金残高は76億1,081万円となり、前年度比9,688万円減となりました。なお国民健康保険事業特別会計勘定分を除く基金残高は前年度比5億1,547万円増となり、また財政調整基金からの企業会計への貸付は解消しています。



#### 財政調整基金残高の推移

(単位:百万円)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
残高	5,992	5,789	6,241	6,457	7,013	7,708	7,611

※標準財政規模(H29年度:40,550百万円)に対する比率⇒18.8%

#### 財政調整基金残高の推移(国民健康保険勘定分を除いたもの)

(単位:百万円)

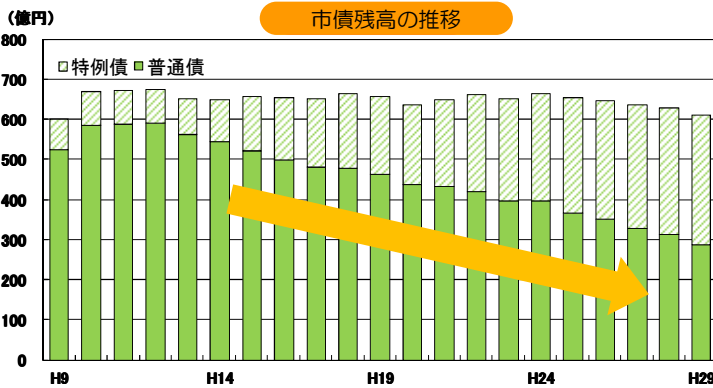
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
残高	5,992	5,789	5,693	5,959	6,401	7,096	7,611

## 借金

### ◆ 市債残高と発行額の推移

#### ●市の借金にあたる市債の残高は609億8,392万円で、前年度に比べ18億3,098万円減(△2.9%)

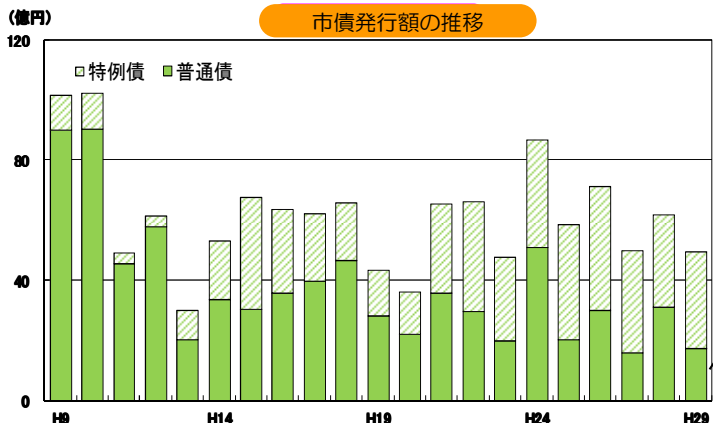
市債の償還の進捗に伴い、普通債は着実に減少している一方で、特例債は普通交付税の代替である臨時財政対策債の発行により増加し続けていますが、市債残高全体としては微減傾向にあります。



#### 市債残高

※H28末 約628億円 (普通債:約312億円 特例債:316億円)  
H29末 約610億円 (普通債:約287億円 特例債:323億円)

△18億円 (普通債: △25億円 特例債: +7億円)



市債発行額約49億円のうち普通債の額は、約17億円

# 国の補正予算を活用した事業



## ◆ 国の補正予算を活用した事業の実施により後年度の市民負担の軽減を実現

平成29年度は、国の補正予算に伴う有利な財源を活用して約28.9億円規模の事業を実施することで、将来の市民負担を約8.3億円軽減しました。

### 教育環境の向上

効果額約8.3億円！

#### 学校の大規模改造・空調改修等 事業費:約22億4千万円(効果額:約7億9千万円)



大規模改造工事(稲野・南・笹原小(写真)・他)や空調改修(稲野・桜台・笹原小・他)等を実施

### 道路インフラの改善

#### 自転車レーン等整備事業他 事業費:約1億2千万円(効果額:約4千万円)



新幹線側道に自転車レーンを整備



荒牧学園線他の計画的修繕を実施

### その他の事業

#### 臨時福祉給付事業 事業費:約5億3千万円

非課税世帯に簡素な給付を実施



# 伊丹市行財政プラン



## ◆ 概要

人口減少社会、公共施設の老朽化、地方創生など、地方を取り巻く環境が大きく変化する地方公共団体の行財政運営は、将来を見据えた経営能力が重要視されるとともに、自主的・自立的な財政運営が求められています。

また、複雑化、多様化する行政需要のすべてに対応することは容易ではないことから、限られた財源を最大限有効かつ計画的に活用する効率的で効果的な財政運営を行っていく必要があります。

本市では、行財政プランを策定し、

### 「将来を見据えた持続可能な行財政運営～30年先も早期健全化団体に陥らないための財政基盤の構築～」

を基本理念とし、計画期間である平成28年度から平成32年度において、次の4項目について積極的に取り組みます。

#### ①魅力ある都市経営(伊丹創生)

(人口減少対策及び地域活性化等に資する事務事業の重点化)

#### ②公共施設マネジメントの推進

(人口減少社会に対応した公共施設等の量的・質的最適化)

#### ③効率的な行政経営

(事業の効率化等の歳入面・歳出面における徹底した行政改革)

#### ④健全な財政運営

(将来を見据えた計画的な財政運営及び規律の確保)

また、取組状況については、予算・決算において検証し、市民の皆様にお知らせしていきます。

## ◆ 平成29年度決算 取組効果額

	【予算時】	【決算時】	【差引】
合計	1,850百万円	2,103百万円	253百万円
(内、一般会計)	1,306百万円	1,574百万円	268百万円
(内、特別会計)	544百万円	529百万円	▲15百万円

### 公共施設マネジメントの推進

主な内容	【小計 62】	【小計 62】	【小計 -】
	予算時効果見込額	決算時効果額	差引
・ 野外活動センターの譲渡	62	62	-

### 効率的な行政経営

#### ◆ PPP(公民連携)の推進

主な内容	【小計 565】	【小計 711】	【小計 146】
	予算時効果見込額	決算時効果額	差引
・ 市有財産の売却	422	568	146
・ ごみ収集体制の見直し、ネーミングライツ事業実施 他	143	143	-

#### ◆ 事務事業の見直し・効率化

主な内容	【小計 1,109】	【小計 1,213】	【小計 104】
	予算時効果見込額	決算時効果額	差引
・ 徴収体制の強化、LED化推進事業 他	565	684	119
(特別会計) ・ 徴収体制の強化、特定健診の促進	544	529	▲15

#### ◆ 第三セクターの経営健全化

主な内容	【小計 -】	【小計 3】	【小計 3】
	予算時効果見込額	決算時効果額	差引
・ 株式会社への出資に対する配当権利等の行使 他	0	3	3

#### ◆ 地方公営企業等の経営健全化

主な内容	【小計 113】	【小計 113】	【小計 0】
	予算時効果見込額	決算時効果額	差引
・ 収益事業収入の確保	100	100	-
・ 各特別会計の廃止(交通災害等共済、中心市街地駐車場 他)	13	13	-

#### ◆ 受益者負担等の見直し

主な内容	【小計 1】	【小計 1】	【小計 -】
	予算時効果見込額	決算時効果額	差引
・ 公共施設等に係る受益者負担の見直し	1	1	-

## ◆ 財政規律及び財政指標の目標

### < 財政規律 >

項目	細目	H29年度決算	規律
政策的・投資的事業 の取組方針	投資的経費(インフラ・その他分) に係る一般財源	7.5億円	5年間で25億円以内 (原則毎年度当たり5億円以内)
	投資的経費(再配置計画推進分) に係る一般財源	4.3億円	5年間で50億円以内 (原則毎年度当たり10億円以内)
	政策的経費に係る一般財源	3.3億円	5年間で25億円以内 (原則毎年度当たり5億円以内) (行革努力による削減効果の範囲内)
市債の管理方針	投資的経費(インフラ・その他分) に係る市債発行額	5.7億円	5年間で75億円以内 (原則毎年度当たり15億円以内)
	投資的経費(再配置計画推進分) に係る市債発行額	11.4億円	5年間で175億円以内 (原則毎年度当たり35億円以内)
基金の管理方針	財政調整基金	7.4億円	決算剰余金の2分の1以上を財政調整 基金に優先的に積み立て、残高目標到 達後は公債管理基金に継続的に積立
	公債管理基金	0.0億円※1	
	公共施設等整備保全基金	12.1億円積立※2 (1.5億円積立)※3	30年間の見込平均額(約7.5億円)を基準 に積立及び処分 別途、毎年度1.5億円(市庁舎分)積立
	一般職員退職手当基金	2.0億円積立	30年間の見込額平均(約7億円)を基準 に積立及び処分

### < 財政指標の目標 >

項目	細目	H29年度決算	目標値
基金残高	標準財政規模に対する財政調整基金 の割合	18.8%	H32年度までに20%
健全化判断比率	実質赤字比率※4	「－」	「－」
	連結実質赤字比率※5	「－」	「－」
	実質公債費比率※6	7.1%	H32年度で7%～11%程度
	将来負担比率※7	「－」	H32年度で50%～90%程度
	資金不足比率※8	「－」	「－」
	経常収支比率	94.4%	計画期間中95%以下を維持

※1 公債管理基金の積立額は運用益106千円を積立て。

※2 再配置計画の推進を補完するため必要となる一般財源が設定した上限額(10億円)を下回る場合、補正予算等を通じて弾力的に積立て。

※3 ( )内は庁舎積み立て分を外書き。

※4 実質赤字がない場合は「－」と表示。(早期健全化基準11.44%、財政再生基準20.0%)

※5 連結実質赤字がない場合は「－」と表示。(早期健全化基準16.44%、財政再生基準30.0%)

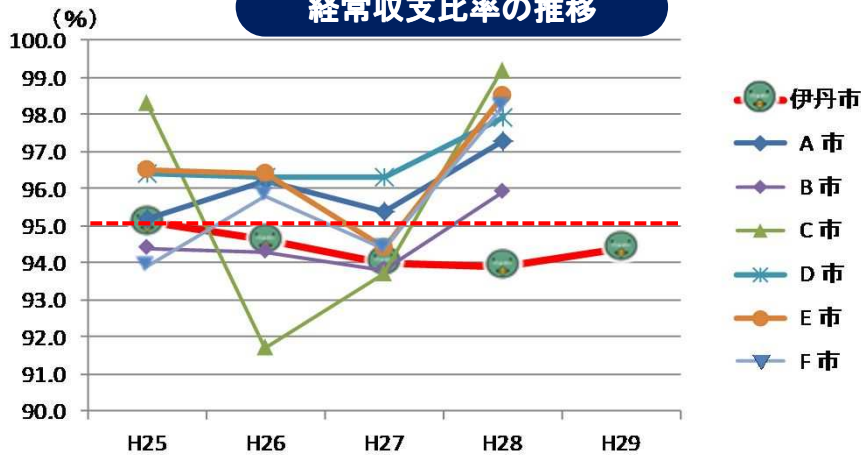
※6 実質公債費比率は3年平均。(早期健全化基準25.0%、財政再生基準35.0%)

※7 将来負担額が公債費充当可能財源等を下回る場合は「－」と表示。(早期健全化基準350.0%)

※8 資金不足額がない場合は「－」と表示。(経営健全化基準20.0%)

## ◆ 財政指標の推移(阪神間比較)

### 経常収支比率の推移



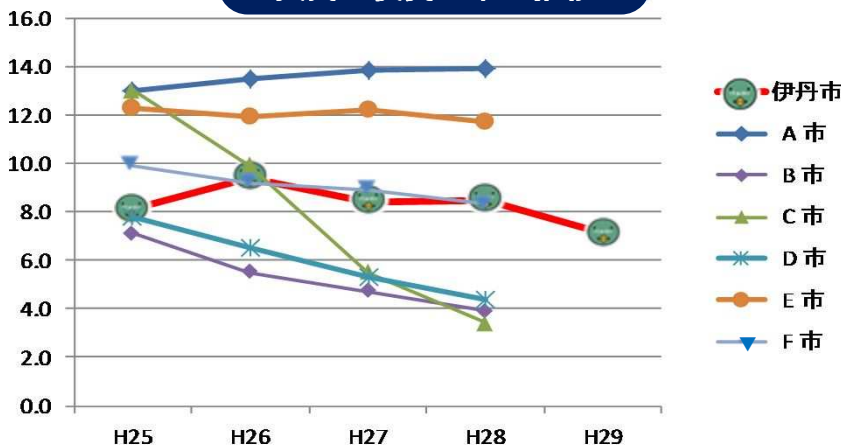
行財政プラン目標:95%以下を維持

#### 【経常収支比率】

地方税・普通交付税などの経常一般財源が、人件費・扶助費・公債費などの経常的な経費にどの程度充当されているかを判断する指標で、この比率が低いほど弾力的な財政運営を行えることを意味します。

行財政プランの目標である95%以下となっており、一定の弾力性が維持されています。

### 実質公債費比率の推移



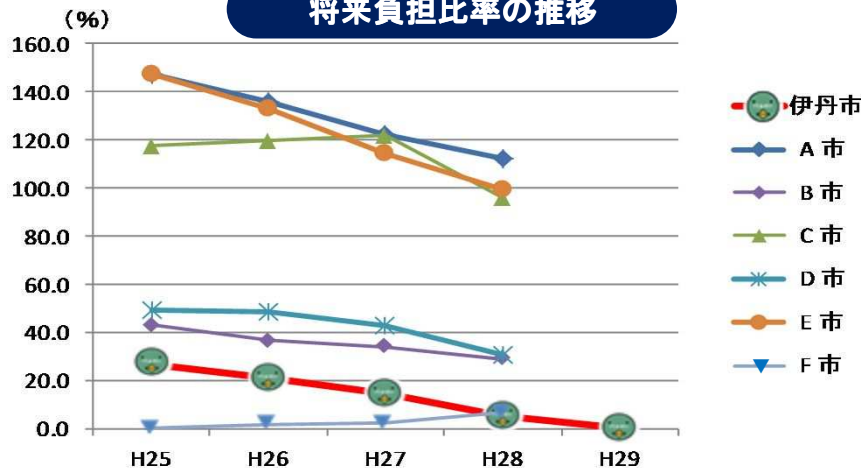
行財政プラン目標:H32で7%~11%程度

#### 【実質公債費比率】

一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率で、この比率が早期健全化基準の25%以上となると「財政健全化計画」を定めて財政健全化に取り組む必要があります。

早期健全化基準を大幅に下回るとともに、行財政プランの目標の範囲内で推移していることから、現在のところ健全な水準です。

### 将来負担比率の推移



行財政プラン目標:H32で50%~90%程度

#### 【将来負担比率】

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、この比率が早期健全化基準の350%以上となると、「財政健全化計画」を定めて財政健全化に取り組む必要があります。

早期健全化基準を大幅に下回るとともに、国の補正予算に伴う有利な財源を活用したため、行財政プランの目標を下回っており、現在のところ健全な水準です。

阪神とは、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市の7市

# 主な事業



## 伊丹市総合計画(第5次) ～ みんなの夢 まちの魅力 ともにつくる 伊丹 ～

### 施策体系



#### 基本目標 市民が主体となったまちづくりの実現

##### 基本方針

1. 参画と協働による市民自治
2. 多様性を認め合う共生社会
3. 自立的な行財政運営

##### 政策目標

- ① 支え合いの心でつくる安全・安心のまち
- ② 未来を担う人が育つまち
- ③ にぎわいと活力にあふれるまち
- ④ 環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち

##### 施策目標

1. 安全・安心のまちづくり
2. 健康で安心して暮らせる地域保健・医療
3. 支え合いを基調とした地域福祉
1. 子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり
2. 子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育
3. ライフステージごとに学び活躍する人づくり
1. 個性とにぎわいあるまちづくり
2. 活力ある地域産業の振興と創出
3. 空港を活かしたまちづくり
1. 環境適合型社会の実現
2. 水とみどりの豊かな自然環境の創出と再生
3. 良質な都市空間の整備

### 【基本方針】参画と協働・共生社会・自立的な行財政運営



地域コミュニティの基盤強化と、市民による主体的なまちづくりの推進を目的とする「伊丹市地域自治組織の設立等に関する条例」を制定しました。また、国際姉妹都市であるハッセルト市行政・市民代表団等と交流事業を行いました。さらに、ふるさと寄附に関する事務の一部を民間事業者へ委託し、寄附者の利便性の向上に加え、返礼品の充実を通じた伊丹ブランドの全国的な発信を図りました。

● 地域自治組織・活動推進事業(地域総括交付金)	.....	3,400 千円
● セクシュアルマイノリティ相談事業	.....	101 千円
● 伊丹市代表団ハッセルト市訪問事業	.....	1,976 千円
● ハッセルト市行政・市民代表団受入事業	.....	606 千円
● 市民意識調査	.....	3,000 千円
● ふるさと寄附推進事業	.....	8,597 千円



## ◆政策目標1: 支え合いの心でつくる安全・安心のまち

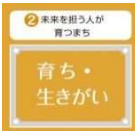


大規模災害に備え、千僧浄水場の耐震補強工事や雨水ポンプ場等の改築、内水ハザードマップの作成等に取り組むとともに、災害時の市民の安全確保や庁舎機能保持のために「伊丹市新庁舎整備基本計画」を策定しました。また、3テスラMRI等、市立伊丹病院の医療機器を更新しました。さらに、手話に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため「伊丹市手話言語条例」を制定しました。

●内水ハザードマップ作成事業	.....	952 千円
●避難所井戸設置事業	.....	7,442 千円
●住宅耐震化促進等事業	.....	24,296 千円
●新庁舎整備推進事業	.....	16,497 千円
●まちなかミマモルメ利用促進事業	.....	4,737 千円
●千僧浄水場等施設整備事業(C配水池耐震化工事)	.....	1,788 千円
●ポンプ場等改築事業	.....	19,008 千円
●いたみボディバランス測定会拡充実施	.....	2,462 千円
●高度医療機器等整備事業	.....	544,687 千円
●市立伊丹病院の中長期的課題調査事業	.....	3,055 千円
●こどもの居場所(学習会)事業	.....	52 千円
●介護人材確保事業	.....	5,274 千円
●在宅医療・介護連携推進事業	.....	1,685 千円
●手話言語条例の制定	.....	74 千円



## ◆政策目標2: 未来を担う人が育つまち



民間活力による保育所等の整備を支援し、年度当初の保育所等待機児童ゼロを達成しました。小学6年生まで児童くらすの利用対象を拡充し、仕事と家庭、子育ての両立を支援する環境づくりを進めるとともに、本市の幼児教育理念と育てたい子ども像等について定めた「伊丹市幼児教育ビジョン」を策定しました。また、6月から市内全中学校で、完全給食を実施しました。

●民間活力による保育所等整備事業	.....	83,744 千円
●伊丹市幼児教育ビジョン等策定事業	.....	639 千円
●幼児教育段階的無償化広報戦略事業	.....	167 千円
●児童くらす施設整備事業	.....	15,287 千円
●子育て支援センター利用者支援事業	.....	2,043 千円
●就学援助事業	.....	227,359 千円
●グローバル化に向けた英語教育推進事業	.....	38,638 千円
●スクールサポート事業	.....	9,758 千円
●健全な食生活推進事業	.....	57 千円
●コミュニティ・スクール設置事業	.....	1,946 千円
●中学校給食施設整備事業	.....	85,730 千円
●学校施設整備事業	.....	2,128,643 千円
●学校施設整備事業(照明LED化)	.....	37,044 千円





### ◆政策目標3:にぎわいと活力にあふれるまち

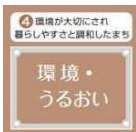


阪急伊丹駅前に市のPR等を表示するデジタルサイネージを設置するとともに、なぎなたを題材とした映画「あさひなぐ」とタイアップしたシティプロモーションを展開しました。また、中心市街地の活性化を図るため、空き店舗に出店する事業者に対する家賃等の一部補助や、商店街等の活性化につながるイベント事業等への補助を行いました。さらに、伊丹スカイパークに乳幼児用の遊具エリアを新設しました。

●シティプロモーション推進事業	.....	8,659 千円
●シティプロモーション環境整備事業	.....	41,916 千円
●空き店舗出店促進補助事業	.....	7,636 千円
●商店街等活性化補助事業	.....	6,666 千円
●企業立地支援事業	.....	26,964 千円
●都市農業振興推進事業	.....	1,557 千円
●伊丹スカイパーク整備事業	.....	25,237 千円
●観光物産ギャラリートイレ改修事業	.....	8,435 千円



### ◆政策目標4:環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち



公園灯のLED化を推進し、100%を達成しました。また、昆虫館のチョウ温室の大規模改修工事を実施し、平成30年(2018年)4月1日にリニューアルオープンしました。さらにJR伊丹駅前の本泉寺敷地内に伊丹機械式自転車駐車を整備するとともに、阪急伊丹駅東周辺において新たな路上駐輪ラックを設置するなど、駐輪対策に取り組みました。

●公園灯整備事業(LED化)	.....	102,779 千円
●野良猫衛生対策事業補助金	.....	1,226 千円
●公園緑地等の整備 (緑ヶ丘公園再整備、玉田公園再整備、沢公園他整備事業)	.....	79,192 千円
●昆虫館チョウ温室改修事業	.....	118,994 千円
●転入促進事業	.....	12,584 千円
●空家等除却支援事業	.....	1,740 千円
●空家等対策推進事業	.....	2,916 千円
●都市計画道路整備事業	.....	59,893 千円
●生活道路の整備事業	.....	163,633 千円
●道路維持補修事業	.....	209,362 千円
●道路安全対策事業	.....	74,549 千円
●自転車レーン等整備事業	.....	21,278 千円
●JR伊丹駅周辺自転車駐車場整備事業 (伊丹機械式自転車駐車場)	.....	150,379 千円
●阪急伊丹駅東路上駐輪施設整備工事	.....	3,882 千円





